

埋め立て計画を白紙に

賑やかな船橋駅前から南へ20分ほど歩くと、港に停泊する大小さまざまな船が見えてきます。東京湾の魚介類を水揚げする船橋漁港(千葉県船橋市)です。港には、あたたかな冬の陽が射し、空にはたくさんのユリカモメが。停泊する船に近づいてみると、大勢の子どもたちがちょうど乗船しているところでした。

「バルさんも特別に乗せてやるよっ!」。威勢よく声をかけてくれたのは、船橋市漁業協同組合長で、株式会社大平丸を営む大野一敏さん。江戸時代から続く網元で、現在は巻き網漁業を行っています。

今日は、市立南本町小学校の船上教室で、大野さん自ら「大平丸」を操り、子どもたちを海に案内するのです。「言うことを聞かない子は、海に放り投げるぞ」とユーモアのある挨拶のあと、さっそく出港。東京湾に出て、広大な浅瀬が続く三番瀬に入ります。三番瀬は今も海苔の養殖が盛んな場所です。船を停めた大野さんは竹竿を海にさしました。「竿の先に泥がついてるだろう。ここは「畑」なんだ!」。驚く子どもたちと

宝の海を地域の活力に

「潮が満ちてくると魚釣りや水泳、潮が引くと潮干狩りか泥んこ遊び……。子どもの頃は三番瀬が私の遊び場でした。昭和40年代は悪臭でひどかったんですが、少しずつ昔の海に還ってきているようで、うれしいですね」

子どもたちの歓声であふれる大平丸にはもう1人、優しいまなざしで三番瀬を眺め、海への想いを語る人がいました。株式会社いしとの取締役会長・相澤友夫さんです。地元で石材業を営む相澤さんは、小さい頃から三番瀬に親しんできた船橋っ子。大野さんとともに三番瀬の保全に携わり、「三番瀬のラムサール条約登録を実現する会」の共同代表を務めるほか、東京湾へそそぐ海老川の保全にも取り組み、今年で25回目の「船橋海老川親水市民まつり」の中心人物としても活動しています。

「私は、漁師でも海の専門家でもない、石屋さん(笑)。でも、海を守りたい気持ちと同じだし、事業者の立場として、できることはやっていたい。三番瀬は、宝の山ならぬ宝の海なので、船橋の個性、活力にな

社会貢献の新しいかたち

“海の畑”を守り抜け!  
江戸前の男たちの海への想いと誓い

株式会社大平丸  
大野一敏さん  
株式会社いしとも  
相澤友夫さん

東京湾に唯一残る干潟、三番瀬。  
江戸の昔より豊穡な海の幸を  
育ててきた漁場を守る男たちを訪ねました。



大平丸から三番瀬の海苔の養殖場を熱心に眺める子どもたち。



船上で三番瀬について語る大野さん。



船橋漁港での大平丸の水揚げ作業。



三番瀬を優しく見守める相澤さん。



三番瀬保全運動の連絡役をつとめる伊藤さん。

一緒に、編集部も驚いてしまいました。

三番瀬の海苔は、江戸の昔から味の良さで評判でしたが、戦後の高度成長時代に海が埋め立てられ壊滅の危機に。三番瀬が失われると、スズキ、イシガレイ、アサリなど、江戸前の魚介類が獲れる東京湾も汚染されます。危機感を抱いた大野さんは、漁師仲間や多くの人に声をかけ、シンポジウムや港まつりの企画、ラムサール条約登録の推進など、保全活動を積極的に展開。漁師としての経験や知識をいかした活動は、2001年に三番瀬の埋め立て計画を白紙に戻す原動力にもなりました。

「偉い学者先生は、『天然資源は減っている』と言う。だったらなぜ、すぐ目の前にある豊かな海を守ろうとしないのか。文句を言っても始まらないので、まずは子どもたちに海を見せよう、自前で船を出し、船上教室を開いているんです。陸から海だけ見ているのではなく、海から陸を眺めながら、海の大切さを考えてくれる子どもたちが増えてほしい。東京湾の保全と再生はそこから始まると思いますね(大野さん)」。潮風に吹かれながら語る声には、漁師としての怒りと海への想いを感じました。

ると考えています。海から眺めると、コンクリートの岩壁や工場が目立っています。が、いつの日か船橋漁港の周辺を、市民が憩えるような公園にできればと思いますね」

30分ほどの船上教室が終わり、大平丸は船橋漁港へ帰港。すると今度は、東京湾で操業を終えた別の大平丸が戻ってきて、港に活気がみなぎります。「水揚げされているのは、コハダの出世魚コノシロです。そう教えてくれたのは、「東京湾うお☆こころ喰ラブ」を主宰するフードコーディネーターで、保全運動全般の裏方を務める伊藤雄一さん。

「漁師、浜間屋、事業者、ボランティアと、それぞれが得意な分野で、知恵と人とお金を出し合えばいい。でも、一番大事なのは個人の意識。海はきれいだなで終わるのではなく、その海をどう守っていくのか、皆さんで一度考えてほしいですね」

取材の帰り、漁港近くの乾物屋の店先に、「船橋三番瀬海苔」の旗が掲げられていました。さっそく1袋買い求めると、「それおいしいよ」と、店のおばさんがうれしそうに笑ってくれました。

※三番瀬保全に関する情報や問い合わせは、伊藤雄一さんのブログ「うおこころ通信」(http://uogokoroclub.blog65.fc2.com/)をご覧ください。

株式会社大平丸【TEL】047-431-5830【HP】http://daiheimaru.yu-nagi.com/  
株式会社いしとも【TEL】047-439-1114【HP】http://www.ishitomo.com/